

CRCの必要性について（設立形態別）

	n数	常勤職員としての雇用が望ましい (%)	非常勤職員としての雇用が望ましい (%)	常勤と非常勤両者が必要である (%)	外部委託が望ましい (%)	必要性を感じない (%)	無回答 (%)
全体	346	57.8	1.4	14.5	22.8	0.9	2.6
大学附属病院	61	77.0	0.0	16.4	3.3	1.6	1.6
私立病院	52	48.1	1.9	3.8	42.3	0.0	3.8
ナショナルセンター・国立病院機構	74	78.4	2.7	18.9	0.0	0.0	0.0
公立病院・公的病院	103	47.6	1.0	20.4	27.2	0.0	3.9
クリニック・診療所	42	33.3	2.4	2.4	54.8	4.8	2.4
その他	14	50.0	0.0	14.3	28.6	0.0	7.1

CRCの必要性については、私立病院とクリニック・診療所では「外部委託が望ましい」の回答が多いが、その他は「常勤職員としての雇用が望ましい」と回答していた。

CRCの必要性について（受託件数規模別）

	n数	常勤職員としての雇用が望ましい (%)	非常勤職員としての雇用が望ましい (%)	常勤と非常勤両者が必要である (%)	外部委託が望ましい (%)	必要性を感じない (%)	無回答 (%)
全体	346	57.8	1.4	14.5	22.8	0.9	2.6
1～10件	135	47.4	1.5	8.9	37.8	1.5	3.0
11～59件	130	60.0	0.8	20.0	17.7	0.0	1.5
60件以上	71	76.1	1.4	16.9	1.4	1.4	2.8

3年間で受託した医薬品治験の課題数別に見ると、60件以上受託している施設の76.1%が「常勤職員としての雇用が望ましい」、11～59件では2割が「常勤職員と非常勤職員が必要」と回答し、受託数が少ないと「外部委託が望ましい」の割合が高かった。

3)治験に関わっている事務職員

治験に関わっている事務職員(設立形態別)

	施設数	平均人数 (人)
全体	302	2.70
大学附属病院	56	3.52
私立病院	45	2.13
ナショナルセンター・国立病院機構	69	2.30
公立病院・公的病院	85	2.34
クリニック・診療所	33	3.76
その他	14	2.93

治験に関わっている事務職員は平均 2.7 人で、大学附属病院、クリニックは平均 3.52～3.76 人と他に比べて多かった。

4) IRB 委員

IRB 委員定員数(設立形態別)

	施設数	平均人数 (人)
全体	299	12.09
大学附属病院	57	13.88
私立病院	45	10.82
ナショナルセンター・国立病院機構	70	12.84
公立病院・公的病院	98	11.74
クリニック・診療所	15	8.87
その他	14	10.93

IRB 委員の定員は平均 12.09 名であった。設立形態別の定員数は大学附属病院が最も多く、クリニック・診療所では自施設に IRB を持たない所も多かった。